気候変動対策の推進について



山口県　環境生活部　環境政策課

気候変動の状況と将来予測

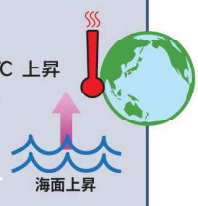
二酸化炭素などの温室効果ガスの増加による地球温暖化がもたらす気候変動は、人類の生存基盤に係る世界共通の最も重要な課題の１つです。

気候変動による影響は、すでに世界中で観測されており、今後、さらに深刻な影響が予測されています。

世界・日本

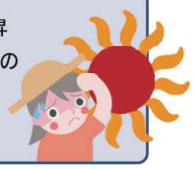
世界の平均気温は、
過去100年で 0.99℃ 上昇し、
海面は 20cm 上昇

今世紀末には…
世界の年平均気温は最大 5.7℃ 上昇
海面は最大 63～101cm 上昇



日本の平均気温は、
100年あたり 1.28℃ 上昇

今世紀末には…
日本の年平均気温は4.5℃上昇
猛暑日(日最高気温35℃以上)の
年間日数は約20日増加



山口県

県の短時間強雨の
年間発生回数は、
35年で 2.9倍 に増加

今世紀末には…
大雨(日降水量200mm以上)の日数や、
短時間強雨(1時間降水量50mm以上)の
発生回数が増加



県の平均気温は、
100年あたり 1.74℃ 上昇

今世紀末には…
年平均気温は4.1℃上昇
猛暑日の年間日数は、約26日増加

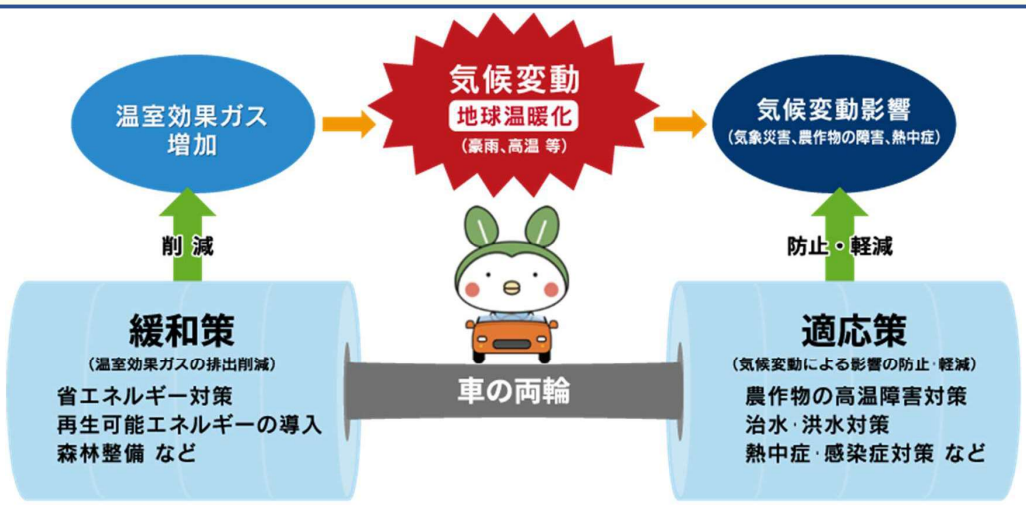


気候変動への対策

現在、国や県では、「緩和策」と「適応策」という２つの方法を車の両輪に見立てて、総合的かつ計画的に進めています。

緩和策：気候変動の原因となる温室効果ガスの削減対策

適応策：すでに生じている、あるいは将来予測される気候変動による影響の防止・軽減策



緩和策と適応策の関係

＜温室効果ガス＞	二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン
＜再生可能エネルギー＞	太陽光発電、風力発電、中小水力発電、バイオマス発電 など

環境政策課の今年度の取組（抜粋）

事　業　名	概　　要
2050ゼロカーボン・チャレンジ推進事業	拡 未来環境アクション・プロジェクトの実施 ・ 山口大学グリーン社会推進研究会と連携した環境学習の実施 ・ 脱炭素に触れる体験型謎解きイベントの実施 ・ ぶちエコやまぐちアンバサダーと連携した情報発信 ・ 官民連携による熱中症予防普及啓発の実施 ・ 適応策事例の収集・周知 ・ 「ぶちエコアプリ」を活用し、エコ行動を実践するための機会やインセンティブを継続的に提供 ・ 家庭向け温暖化防止診断とぶちエコサポーター登録制度等の実施 ・ 環境やまぐち推進会議の運営、地球温暖化対策優良事業所の表彰
省・創・蓄エネの導入促進事業	・ ＺＥＨ（ゼッチ）の啓発・導入支援 ・ 脱炭素セミナー 拡 専門家による省エネ診断 ・ 省エネ診断員の育成支援 ・ やまぐち再エネ電力利用事業所認定制度 拡 中小企業者等向け省・創・蓄エネ設備設置補助金 新 「やまぐち版地域脱炭素」の実現に向けた検討 ・ 山口県産省・創・蓄エネ関連設備等登録制度 ・ 太陽光発電設備等の共同購入支援 ・ 地球にやさしい環境づくり融資
新 ぶちエコやまぐち省エネ家電等購入支援事業	・ 対象製品を対象店舗で購入した者に対し、ポイント等を付与

「緩和策」と「適応策」に関する今年度事業のうち、貴団体の皆様に参加や周知をお願いしたい取組を次のページよりご紹介します。

緩和策：未来環境アクション・プロジェクト

目　的

2050年に社会の中核を担う若い世代を対象に、自ら気候変動問題に取り組み、脱炭素社会の実現に寄与できる「次世代環境リーダー」の育成を目指します。

概　要

やまぐち未来環境アクション学生プログラム~学びと実践で持続可能な山口を創ろう~

高校生等向けプログラム

未来アイデア創出コース

企業・専門家から学び、気候変動問題を自分ごととして捉え、同世代の共感を生むアイデアを創出する

対象　高校生及び高専生（20名程度）

大学生等向けプログラム

未来環境アクション実践コース

地元企業と協働しながら、気候変動問題に関する社会課題の解決に向けた企画立案・検証・発信までを実践する

対象　高専生、専門学生及び大学生(院生)（10名程度）

プログラム実施スケジュール

キックオフ	合　宿	アイデア創出・実践	成果発表
8/2（日）	8/22～23	9月～10月	11月～1月



緩和策：脱炭素に触れる体験型謎解きイベント

目　的

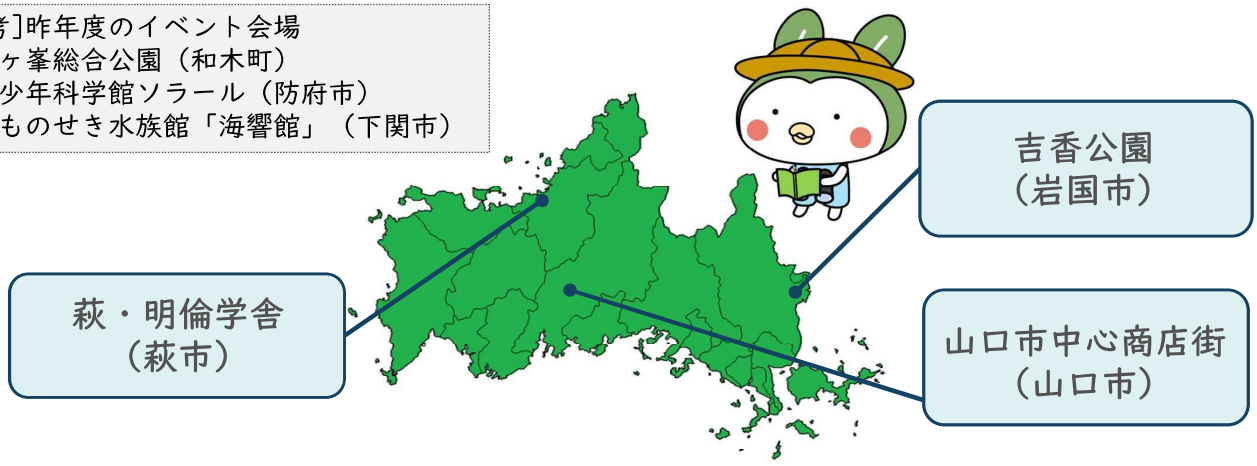
県民の脱炭素型ライフスタイルへの行動変容を促し、その定着を図ります。

概　要

脱炭素に興味・関心のない方をはじめ、多くの県民が気軽に参加でき、脱炭素について学べる体験型謎解きイベントを実施します。

昨年度のイベントでは、小さいお子様から大人まで、幅広い世代の方々が楽しめるとの高評価を得られたことから、今年度も県内３カ所で、10月以降に開催する予定です。

[参考]昨年度のイベント会場
・蜂ヶ峯総合公園（和木町）
・青少年科学館ソラール（防府市）
・しものせき水族館「海響館」（下関市）



緩和策：専門家による省エネ診断

目　的

省エネの専門家を派遣し、設備の運用改善や省エネ設備への更新、再生可能エネルギー導入などについてアドバイス等を実施し、CO_2排出量の削減を目指します。

概　要

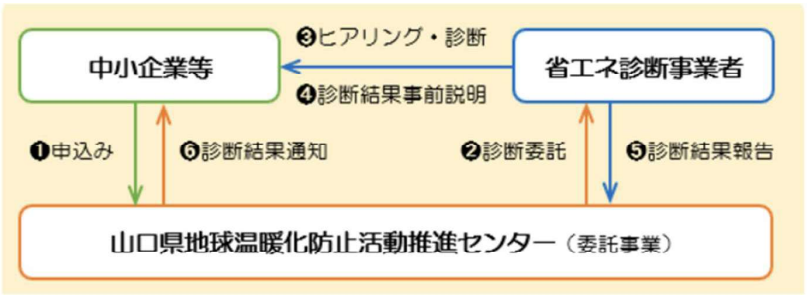
省エネ診断事業者と連携する省エネ専門家が各事業所を訪問し、現地調査を実施した上で、アドバイス等を実施します。

【対　　象】県内に事業所を有する中小企業等

【省エネ診断事業者】（一社）エネルギーマネジメント協会、システム計装（株）

【受付期間】受付中～１２月１８日（金）　※ 先着順で受け付け、申込が募集件数に達した時点で受付を終了します。

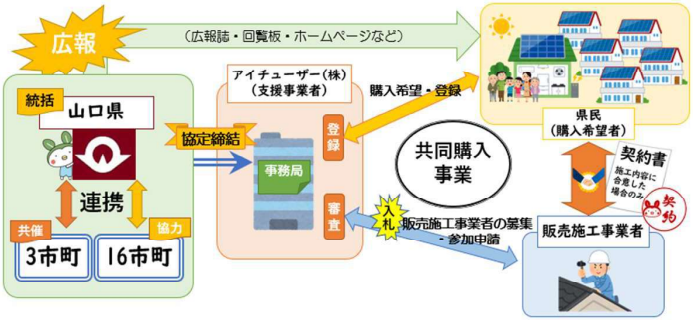
山口県　省エネ診断　検索



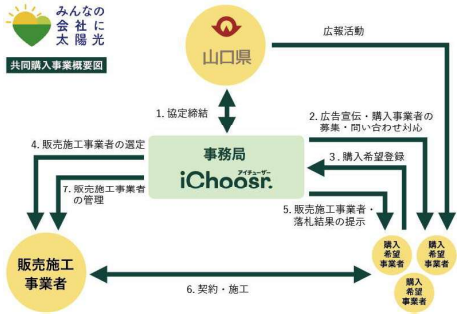
緩和策：ぶちエコやまぐち太陽光発電設備等共同購入事業

太陽光発電設備

一括調達によるスケールメリットを活かし、価格低減を促すことで、既存住宅や事業所等への太陽光発電設備の更なる導入を促進します。



【既存住宅向け】登録受付中（～11月25日）



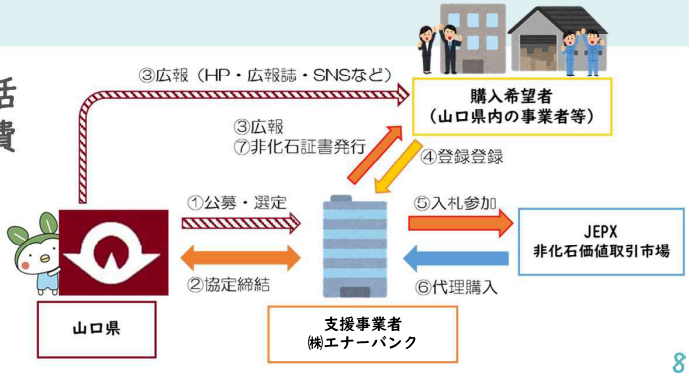
【事業所等向け】９月登録開始（予定）

非化石証書

非化石証書※の購入希望者を募り、一括して調達することで再エネの調達に係る費用の低減や事業負担の軽減等を図ります。

※石炭等の化石燃料ではないエネルギー（例：太陽光等の再生可能エネルギー）で発電した電気が持つCO_2を排出しないという環境価値を証書化したもの

【募集期間】随時募集中



緩和策&適応策：ぶちエコやまぐち省エネ家電等購入支援事業

目　的

エネルギー価格等の高騰を踏まえた家庭における費用負担の軽減を図るため、熱中症対策や家庭部門の温室効果ガス排出削減にも資する省エネ性能の高い家電製品等の購入を支援します。

概　要

期間中に対象店舗で対象の製品を購入した山口県民に、対象製品の省エネ性能等に応じてキャッシュレスポイント等を交付します。



【対象製品】
エアコン・冷蔵庫・テレビ・LED照明器具・高効率給湯器

【対象店舗】
県内に所在する実店舗（対象店舗は随時募集・登録）

【交付方法】
購入後、専用HPからの申請によりポイント等を交付

【実施期間】※ ポイント等がなくなり次第終了
令和９年１月３１日（日）までに購入

山口　省エネ　検索

適応策：暑さ指数計を活用した熱中症予防普及啓発

目　的

熱中症予防の指標である「暑さ指数（WBGT）」を測定する機器を県民等に無料で貸し出し、測定データを収集・分析するＷｅｂアプリを活用することで幅広く県民に対して熱中症対策への意識向上を促進します。

概　要

- イベント時等に暑さ指数計を無料で貸し出し、測定してもらうことで、「暑さ」を見える化し、熱中症予防に役立てます。
- 測定した結果を県民参加型Ｗｅｂアプリ「これって気候変動？みんなで調査！～やまぐちの暑さ編～」を通じて収集・分析し、情報発信します。



【貸出対象】県民、県内の団体・事業者・行政機関・教育機関

【貸出場所】県健康福祉センター　等

【貸出期間】１週間以内

【貸出時期】１０月３０日（金）まで



山口県　暑さ指数計　検索

事業の紹介

詳しくは環境政策課ホームページで　https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/38/

環境政策課



目次

下記目次をクリックすると、該当の見出しへジャンプします。

- 気候変動対策
- 生活環境の保全
- 人づくり・地域づくりの推進
- 共通的・基盤的施策
- 環境法令
- その他

新着情報

主な業務内容

快適な地域環境の形成に係る基本的政策の企画、調整及び推進に関すること
環境の保全に関すること
環境影響評価の審査及び指導に関すること
もっと詳しい業務内容を見る

連絡先

環境企画班
〒753-8501
山口県山口市滝町1番1号
Tel：083-933-3030
Fax：083-933-3049
✉メールでのお問い合わせはこちら

地球温暖化対策班
Tel：083-933-2690
Fax：083-933-3049

大気・化学物質環境班
Tel：083-933-3034
Fax：083-933-3049

水環境班

山口県環境生活部　廃棄物・リサイクル対策課

山口県の廃棄物の現状

【１人１日当たりのごみ排出量】
〇現状（令和　６年度）：９２４ｇ/人･日（全国平均 ８３９ｇ/人･日）
〇目標（令和１２年度）：８９０ｇ/人･日

県民、事業者、行政等のそれぞれが資源循環の必要性をジブンゴトとして捉え、できる取組を一つでもプラスして実践することで、県民総参加による「3R+（ぷらす）」を進め、徹底した資源循環を推進

循環型社会の形成

ぶちエコやまぐち３Ｒ＋（ぷらす）県民運動の推進

主な取組として、

3R+（ぷらす）の普及啓発



- 3R+（ぷらす）の普及啓発
- 大学、企業と連携した環境学習
- フィールドを活用した実践活動の促進

プラスチックの資源循環・脱炭素化



- 竹などの代替素材導入
- やまぐちプラごみ削減取組店

食品ロス削減の取組



- 環境学習、取組の周知
- 登録制度の運用（食べきり協力店、食ロス削減パートナー）

３Ｒ＋（ぷらす）について

3R+（ぷらす）の取組例

凡例：…県民　…事業者

これまでの3R	取組例
リデュース（発生抑制）	マイバッグやマイボトルの持参 過剰包装の廃止
リユース（再使用）	フリーマーケット・リサイクルショップの利用 リターナブル容器の導入
リサイクル（再生利用）	分別排出の徹底や店頭回収への協力 回収ボックスの設置

＋

3Rに＋（ぷらす）	取組例
リフューズ（断る）	レジ袋・割り箸の辞退 使い捨てプラスチック容器等の有料化
リペア（修理）	修理業者の利用 修理部品の長期供給
リフォーム（改修）	住宅の改修や家具の修繕
リメイク（作り直し）	着物のリメイク 廃材等をノベルティグッズへ活用
リターン（返却・回収）	容器の返却
リニューアブル（再生可能資源）	竹等のプラスチックの代替素材を用いた商品の選択









3R+（ぷらす）普及啓発

あなたの3R+（ぷらす）コンテスト開催



≪令和8年度実施予定≫

３Ｒ＋の取組への関心向上や優良事例の収集を図り、
「ジブンゴト」として３Ｒ＋に取り組む行動変容を促進

＜３Ｒ＋の取組を募集＞　＜ポスター・動画等作成＞　＜情報発信＞



リデュース　リペア





3R+（ぷらす）普及啓発

大学、企業と連携した環境学習



≪令和8年度実施予定≫

3R+に取り組む企業や大学と連携した実践活動を伴う環境学習を実施する

＜企業や県内大学と連携＞

山口県
×
【企業・県内大学等】



＜実践活動を伴う環境学習＞
(例)講義と古着の回収



3R+（ぷらす）普及啓発

フィールドを活用した実践活動の促進



≪令和８年度実施予定≫



スポーツの試合会場で、マイボトルの使用や、使い捨てのプラスチック製カップ再資源化の社会実験等を実施予定

プラスチックの資源循環・脱炭素化

竹などの代替素材導入



≪令和７年度の取組≫



「プラスチック製」アメニティ

「ニューアブル」



「竹製くし」を配布し、繰り返しの利用を呼びかけ



宿泊施設の取組をPRするイベント



宿泊施設や宿泊時のプラごみ削減の取組をSNSで発信するキャンペーン

今年度も県内宿泊施設と連携し、プラスチックごみ削減を呼び掛け予定

プラスチックの資源循環・脱炭素化

やまぐちプラごみ削減取組店登録制度





◆概要

プラスチックごみ削減に取り組むスーパーやクリーニング店等を登録し、その取組を広くPRする（R4.7～）

◆目的

県のホームページ等で取組を消費者等に広く紹介することにより、プラごみ削減に向けた県民運動を展開

◆登録事業者数

１９６事業者（R8.5.1現在）

登録事業者(県HP)

食品ロス削減の取組

小・中学校における環境学習



山口県住みます芸人（吉本興業㈱所属）をゲストに迎え、食品ロス削減に関する環境学習を実施

今年度も山口県ゆかりの著名人をゲストに迎え環境学習を実施予定

≪令和７年度の環境学習の様子≫



「どさけん」と一緒に、食品ロス削減に関するクイズに取り組む生徒たち（光市三井学校）



環境学習の後に給食の食べきりに取り組む生徒たち（宇部市小学校）

食品ロス削減の取組

食品ロス削減の取組の周知



「食品ロス削減」に関する取組の啓発チラシを配布したほか、取組に関するラジオCM、小中学生向けの啓発メッセージを放送

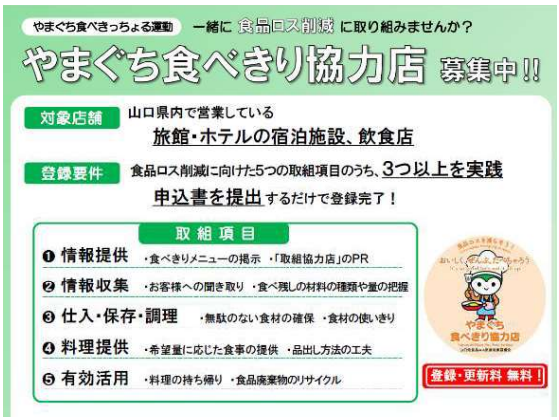






食品ロス削減の取組

やまぐち食べきり協力店登録制度





◆概要

食品ロスの削減の取組を実践する旅館・ホテル、飲食店等を登録し、その取組を広くＰＲする（H23.5～）

◆目的

県のホームページ等で取組を消費者等に広く紹介することにより、食品ロス削減に向けた県民運動を展開

◆登録店舗数

404店舗（R8.4.1現在）

登録店舗(県HP)

食品ロス削減の取組

ぶちエコ食品ロス削減パートナー登録制度



◆概要

食品ロスの削減の取組を実践する食品関連事業者（製造、流通、小売等）を登録し、その取組を広くＰＲする（R3.12～）

◆目的

県のホームページ等で取組を消費者等に広く紹介することにより、食品ロス削減に向けた県民運動を展開

◆登録事業者数

２８事業者（R8.4.1現在）

登録事業者(県HP)

海洋ごみに関する取組

日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃



毎年５月～７月を『日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃』の集中期間とし、各地域で海岸清掃活動を実施

５月にはスタート清掃を実施し、海岸に漂着したごみを回収するとともに、マイクロプラに関する環境学習を開催（R8.5.10実施）



スタート清掃の様子



マイクロプラ環境学習の様子

海洋ごみに関する取組

海岸漂着物実態調査



県内海岸における漂着物の経年的な組成と量の推移等を把握するため、組成調査を実施



調査地点図



海岸漂着物実態調査の様子

海洋ごみに関する取組

プラスチック資源化促進事業



プラスチックの資源循環・脱炭素化を図るため、ごみとして燃やされている漁網やカキ養殖用パイプを回収し、ペレットやベンチにリサイクル

ベンチは山口県庁や周防大島町内に設置



事業イメージ図



海洋プラスチックリボーンベンチ
設置セレモニーの様子

生物多様性の保全について

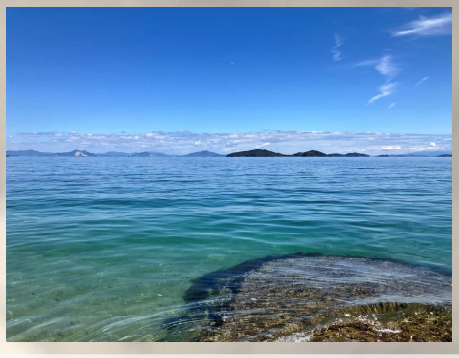
◆自然共生サイトとは

３０by３０目標※達成のため、環境省では、企業の森や里地里山、都市の緑地など**「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定する取組**を令和５年度から開始

※３０by３０目標
生物多様性条約COP15において、愛知目標に次ぐ新たな世界目標である「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択され、2030 年までに陸域30%、海域30%を保全する目標が設定された。

自然共生サイト認定促進について

令和7年度登録箇所



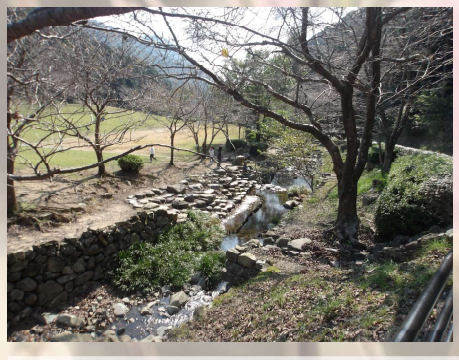
名　称：岩国市神東地先の人工海藻藻場

申請者：神代漁業協同組合、宇部工業高等専門学校、JFEスチール株式会社、岩国市



名　称：日産化学（株）小野田工場ビオトープ

申請者：日産化学（株）小野田工場



名　称：エコピアの森　下関・深坂

申請者：（株）ブリヂストン下関工場、下関市、山口県西部森林組合

目標

２０３０年までに
７箇所（現在5箇所）

山口県の取組

①令和６年３月「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」に基づく「地域生物多様性増進活動支援センター」である**「やまぐち生物多様性センター」を自然保護課内に設置**

②生物多様性保全活動に取り組む企業等の登録・認証制度を創設

制度の概要について

やまぐち生物多様性

〇対象者

・県内で事業活動を行っている企業（個人事業者を含む）

・県内で活動を行っている各種団体（NPO法人、ボランティア団体等）

〇内容

（１）「やまぐち生物多様性応援企業・団体登録」

生物多様性保全の取組に賛同する企業・団体が宣言することで登録

（２）「やまぐち生物多様性パートナー企業・団体認定」

・「自然共生サイト」の認定をうけていること

・継続して生物多様性の保全活動に取り組んでいること

・センターの斡旋する生物多様性の保全活動へ協力していること

生物多様性保全に係るお願いについて

①「自然共生サイト」制度の周知

②山口県の取組である「やまぐち生物多様性応援宣言企業・団体登録」制度・「やまぐち生物多様性パートナー企業・団体認定」制度の周知

③企業や団体との会議の場における出前講座の実施の周知

狩猟免許試験のお知らせ

- 山口県では、狩猟免許取得の経費助成や、各種研修を開催し、ハンターを目指す方をサポートしています。
- ジビエに興味関心がある方、野生鳥獣による農林水産被害に直面される農林水産従事者の方など、狩猟免許の取得に興味のある方は自然保護課や農林（水産）事務所にお問い合わせください！

	日　　時	場　　所	申込期限
第１回	令和８年6月21日(日)	美祢市民会館 （美祢市大嶺町東分326-1）	6月10日(水) 午後5時
第２回	令和８年7月5日(日)	下関市菊川ふれあい会館 （下関市菊川町下岡枝117）	6月24日(水) 午後5時
第３回	令和８年7月19日(日)	柳井市文化福祉会館 （柳井市柳井3718）	7月8日(水) 午後5時
第４回	令和８年8月2日(日)	山口県総合保健会館 （山口市吉敷下東３丁目1-1）	7月22日(水) 午後5時
第５回	令和８年8月7日(金)	山口県立農業大学校 （防府市牟礼10318）	7月27日(月) 午後5時
第６回	令和８年8月30日(日)	ゆめプラザ熊毛 （周南市熊毛中央町１番１号）	8月19日(水) 午後5時



資料2

環境やまぐち推進会議構成団体の取組状況

Ⅰ 令和７年度実施結果

（回答：９３／９３団体）

	団体・法人名	１．脱炭素社会の形成について							２．循環型社会の形成						３．自然との共生			
		①クールビズ・ウォームビズ	②ノーマイカー運動	③エコドライブ	④ライトダウン	⑤緑のカーテン	⑥講座・広報等の普及啓発	⑦その他	①食品ロス削減	②マイバッグ運動	３Ｒの推進	④環境美化・一斉清掃	⑤講座・広報等の普及啓発	⑥その他	①生物多様性保全	②植物・森林等保全	③講座・広報等の普及啓発	④その他
1	山口県地域消費者団体連絡協議会						○		○	○	○		○					
2	山口県消費者団体連絡協議会						○		○		○		○				○	
3	山口県生活学校・生活会議推進協議会	○		○		○	○		○			○	○			○	○	
4	山口県生活改善実行グループ連絡協議会					○		○	○	○		○						○
5	山口県連合婦人会	○		○		○	○		○	○	○	○	○		○	○		
6	（公社）日本青年会議所中国地区山口ブロック協議会	○		○					○							○		
7	（公社）山口県快適環境づくり連合会	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	
8	山口県自然観察指導員協議会	○		○	○		○			○	○	○	○		○	○	○	
9	やまぐち自然共生ネットワーク														○	○	○	
10	地球温暖化防止活動推進員代表	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○		
11	山口県経営者協会	○					○		○				○				○	
12	山口経済同友会	○					○						○				○	
13	山口県商工会議所連合会	○					○				○		○				○	
14	山口県商工会連合会	○			○								○				○	
15	山口県中小企業団体中央会	○		○	○		○			○		○				○		
16	山口県農業協同組合中央会	○																
17	山口県漁業協同組合	○									○				○	○	○	
18	山口県森林組合連合会											○	○			○		
19	（公社）山口県バス協会	○	○	○														
20	（一社）山口県トラック協会	○							○									
21	錦川流域ネット交流会								○	○		○	○		○		○	
22	棚田清流の会	○		○					○	○		○			○			
23	（一社）山口県周南清港会	○										○			○			○
24	（一社）山口県産業廃棄物協会	○		○							○	○	○	○				○
25	（一財）下関21世紀協会 （下関景観協議会）	○										○						
26	長府扇町安全協議会	○		○	○	○	○					○	○				○	
27	山口県海岸漂着物対策推進協議会										○	○	○					
28	ＵＢＥ三菱セメント（株） （やまぐちエコ市場）				○			○				○				○		
29	東ソー（株）（やまぐちエコ市場）	○	○		○						○	○			○	○		
30	（株）トクヤマ（やまぐちエコ市場）	○	○		○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
31	中国電力（株）	○	○	○	○		○				○	○	○					

	団体・法人名	Ⅰ．脱炭素社会の形成について							2．循環型社会の形成						3．自然との共生			
		①クールビズ・ウォームビズ	②ノーマイカー運動	③エコドライブ	④ライトダウン	⑤緑のカーテン	⑥講座・広報等の普及啓発	⑦その他	①食品ロス削減	②マイバッグ運動	③3Rの推進	④環境美化・一斉清掃	⑤講座・広報等の普及啓発	⑥その他	①生物多様性保全	②植物・森林等保全	③講座・広報等の普及啓発	④その他
32	山口合同ガス（株）	○		○	○								○					
33	（株）西京銀行											○						
34	（株）山口銀行	○	○		○							○						
35	日本放送協会山口放送局	○			○		○				○	○	○					
36	テレビ山口（株）	○			○		○						○					
37	山口朝日放送（株）	○	○	○			○						○				○	
38	山口放送（株）	○		○			○					○	○				○	
39	（株）エフエム山口											○				○		
40	山口大学大学院創成科学研究科	○	○	○	○		○		○			○	○			○	○	
41	山口大学大学院技術経営研究科（気候変動対策部会）									○	○	○	○				○	
42	山口県エコキャンパス取組促進協議会																	
43	県立南陽工業高等学校（やまぐちエコリーダースクール）				○		○					○	○				○	
44	長門市立仙崎中学校（やまぐちエコリーダースクール）	○							○			○				○		
45	山口市立白石小学校（やまぐちエコリーダースクール）	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
46	宇部市地球温暖化対策ネットワーク	○		○			○	○			○		○					
47	山口市地球温暖化対策地域協議会	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
48	萩市快適環境づくり推進協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
49	防府市地球温暖化対策地域協議会					○												
50	下松市地球温暖化対策地域協議会					○	○								○		○	
51	岩国市地球温暖化対策地域協議会	○				○	○	○	○	○	○		○	○				
52	光市地球温暖化対策地域協議会	○	○	○	○	○	○					○						
53	長門市快適環境づくり推進協議会					○	○					○					○	
54	柳井市地球温暖化対策地域協議会					○	○	○	○		○	○	○				○	
55	美祢市快適環境づくり推進協議会								○		○	○	○					
56	周南市温暖化対策地域協議会						○	○										
57	山陽小野田市地球温暖化対策地域協議会	○	○	○	○	○	○									○		
58	周防大島町快適環境づくり推進協議会	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○				○	
59	和木町快適環境まちづくり町民会議					○	○					○						
60	上関町快適環境づくり推進協議会	○										○						
61	田布施町快適環境づくり推進協議会	○		○			○		○	○	○	○	○					
62	平生町快適環境づくり推進協議会										○		○					
63	阿武町地球温暖化対策地域協議会	○		○						○	○	○						
64	（公財）山口県ひとづくり財団県民学習部環境学習推進センター	○		○		○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	

	団体・法人名	1．脱炭素社会の形成について							2．循環型社会の形成						3．自然との共生			
		①クールビズ・ウォームビズ	②ノーマイカー運動	③エコドライブ	④ライトダウン	⑤緑のカーテン	⑥講座・広報等の普及啓発	⑦その他	①食品ロス削減	②マイバッグ運動	③3Rの推進	④環境美化・一斉清掃	⑤講座・広報等の普及啓発	⑥その他	①生物多様性保全	②植物・森林等保全	③講座・広報等の普及啓発	④その他
65	県地球温暖化防止活動推進センター	○	○	○	○		○					○	○				○	
66	山口県気候変動適応センター	○		○			○	○				○	○		○		○	
67	在山官公衙連絡会常任幹事 山口行政監視行政相談センター																	
68	下関市環境部環境政策課 （下関市地球温暖化対策実行計画推進協議会）	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○		○			
69	宇部市市民環境部環境政策課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	
70	山口市環境部環境政策課	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
71	萩市市民部環境政策課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
72	防府市生活環境部生活安全課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	
73	下松市生活環境部環境推進課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○				○	
74	岩国市環境部環境保全課	○	○	○		○	○	○	○			○	○			○	○	
75	光市環境市民部環境政策課	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○		○	○		
76	長門市市民生活部生活環境課	○	○	○		○	○		○		○	○			○			
77	柳井市市民部市民生活課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	
78	美祢市市民福祉部生活環境課	○	○	○		○	○		○			○	○			○	○	
79	周南市環境生活部環境政策課	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
80	山陽小野田市市民部環境課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○		
81	周防大島町産業建設環境部生活衛生課	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○				○	
82	和木町住民サービス課	○		○		○	○				○	○	○					
83	上関町住民課	○		○			○				○	○	○				○	
84	田布施町町民福祉課	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○					
85	平生町環境政策室	○	○								○	○	○	○				
86	阿武町戸籍税務課	○		○			○	○			○	○	○				○	
87	山口県環境生活部環境政策課	○	○	○	○		○	○		○	○	○						
88	山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○					
89	山口県環境生活部自然保護課	○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	
90	山口県産業労働部産業政策課	○	○	○	○						○							
91	山口県観光スポーツ文化部交通政策課	○	○	○	○				○	○	○	○						
92	山口県農林水産部農林水産政策課	○	○	○	○													
93	山口県教育庁高校教育課	○		○			○		○		○					○		
	計	71	34	53	39	32	58	19	41	33	50	65	58	7	26	32	41	7

２ 令和８年度実施計画

（回答：９３／９３団体）

	団体・法人名	１．脱炭素社会の形成について							２．循環型社会の形成						３．自然との共生			
		①クールビズ・ウォームビズ	②ノーマイカー運動	③エコドライブ	④ライトダウン	⑤緑のカーテン	⑥講座・広報等の普及啓発	⑦その他	①食品ロス削減	②マイバッグ運動	③３Ｒの推進	④環境美化・一斉清掃	⑤講座・広報等の普及啓発	⑥その他	①生物多様性保全	②植物・森林等保全	③講座・広報等の普及啓発	④その他
1	山口県地域消費者団体連絡協議会						○		○	○	○		○					
2	山口県消費者団体連絡協議会						○		○		○		○				○	
3	山口県生活学校・生活会議推進協議会	○		○		○	○		○	○		○	○		○	○	○	
4	山口県生活改善実行グループ連絡協議会					○		○	○	○		○						○
5	山口県連合婦人会	○		○		○	○		○	○	○	○	○		○	○		
6	（公社）日本青年会議所中国地区山口ブロック協議会	○		○					○							○		
7	（公社）山口県快適環境づくり連合会	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	
8	山口県自然観察指導員協議会	○		○	○		○			○	○	○	○		○	○	○	
9	やまぐち自然共生ネットワーク														○	○	○	
10	地球温暖化防止活動推進員代表	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○		
11	山口県経営者協会	○					○		○				○				○	
12	山口経済同友会	○					○						○				○	
13	山口県商工会議所連合会	○					○				○		○				○	
14	山口県商工会連合会	○			○								○				○	
15	山口県中小企業団体中央会	○		○	○		○			○		○				○		
16	山口県農業協同組合中央会	○																
17	山口県漁業協同組合	○									○				○	○	○	
18	山口県森林組合連合会											○	○			○		
19	（公社）山口県バス協会	○	○	○														
20	（一社）山口県トラック協会	○							○									
21	錦川流域ネット交流会								○	○		○	○		○		○	
22	棚田清流の会	○		○					○	○		○			○			
23	（一社）山口県周南清港会	○		○								○			○			○
24	（一社）山口県産業廃棄物協会	○		○							○	○	○	○				○
25	（一財）下関21世紀協会 （下関景観協議会）	○										○						
26	長府扇町安全協議会	○		○	○	○	○					○	○				○	
27	山口県海岸漂着物対策推進協議会										○	○	○					
28	ＵＢＥ三菱セメント（株） （やまぐちエコ市場）				○			○				○				○		
29	東ソー（株）（やまぐちエコ市場）	○	○		○						○	○			○	○		
30	（株）トクヤマ（やまぐちエコ市場）	○	○		○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
31	中国電力（株）	○	○	○	○		○				○	○	○					
32	山口合同ガス（株）	○		○	○								○					

	団体・法人名	Ⅰ．脱炭素社会の形成について							Ⅱ．循環型社会の形成						Ⅲ．自然との共生			
		①クールビズ・ウォームビズ	②ノーマイカー運動	③エコドライブ	④ライトダウン	⑤緑のカーテン	⑥講座・広報等の普及啓発	⑦その他	①食品ロス削減	②マイバッグ運動	③３Ｒの推進	④環境美化・一斉清掃	⑤講座・広報等の普及啓発	⑥その他	①生物多様性保全	②植物・森林等保全	③講座・広報等の普及啓発	④その他
33	（株）西京銀行											○						
34	（株）山口銀行	○	○		○							○						
35	日本放送協会山口放送局	○			○		○				○	○	○					
36	テレビ山口（株）	○			○		○						○					
37	山口朝日放送（株）	○	○	○			○						○				○	
38	山口放送（株）	○		○			○					○	○				○	
39	（株）エフエム山口											○				○		
40	山口大学大学院創成科学研究科	○	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	
41	山口大学大学院技術経営研究科（気候変動対策部会）									○	○	○	○				○	
42	山口県エコキャンパス取組促進協議会																	
43	県立南陽工業高等学校（やまぐちエコリーダースクール）				○		○		○			○	○				○	
44	長門市立仙崎中学校（やまぐちエコリーダースクール）	○							○			○				○		
45	山口市立白石小学校（やまぐちエコリーダースクール）	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
46	宇部市地球温暖化対策ネットワーク	○		○			○	○			○		○					
47	山口市地球温暖化対策地域協議会	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
48	萩市快適環境づくり推進協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
49	防府市地球温暖化対策地域協議会					○												
50	下松市地球温暖化対策地域協議会					○	○								○		○	
51	岩国市地球温暖化対策地域協議会					○	○	○	○		○		○	○				
52	光市地球温暖化対策地域協議会	○	○	○	○		○					○						
53	長門市快適環境づくり推進協議会					○	○					○					○	
54	柳井市地球温暖化対策地域協議会					○	○	○	○		○	○	○				○	
55	美祢市快適環境づくり推進協議会								○		○	○	○					
56	周南市温暖化対策地域協議会						○	○										
57	山陽小野田市地球温暖化対策地域協議会	○	○	○	○	○	○									○		
58	周防大島町快適環境づくり推進協議会	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○				○	
59	和木町快適環境まちづくり町民会議					○	○					○						
60	上関町快適環境づくり推進協議会	○										○						
61	田布施町快適環境づくり推進協議会	○		○			○		○	○	○	○	○					
62	平生町快適環境づくり推進協議会										○		○	○				
63	阿武町地球温暖化対策地域協議会	○		○						○	○	○						
64	（公財）山口県ひとづくり財団県民学習部環境学習推進センター	○		○		○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	
65	県地球温暖化防止活動推進センター	○	○	○	○		○					○	○				○	

	団体・法人名	1．脱炭素社会の形成について							2．循環型社会の形成						3．自然との共生			
		①クールビズ・ウォームビズ	②ノーマイカー運動	③エコドライブ	④ライトダウン	⑤緑のカーテン	⑥講座・広報等の普及啓発	⑦その他	①食品ロス削減	②マイバッグ運動	③3Rの推進	④環境美化・一斉清掃	⑤講座・広報等の普及啓発	⑥その他	①生物多様性保全	②植物・森林等保全	③講座・広報等の普及啓発	④その他
66	山口県気候変動適応センター	○		○			○	○				○	○		○		○	
67	在山官公衙連絡会常任幹事山口行政監視行政相談センター																	
68	下関市環境部環境政策課 （下関市地球温暖化対策実行計画推進協議会）	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○		○			
69	宇部市市民環境部環境政策課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	
70	山口市環境部環境政策課	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
71	萩市市民部環境政策課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
72	防府市生活環境部生活安全課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	
73	下松市生活環境部環境推進課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○				○	
74	岩国市環境部環境保全課	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○			○	○	
75	光市環境市民部環境政策課	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○		○	○		
76	長門市市民生活部生活環境課	○	○	○		○	○		○		○	○			○			
77	柳井市市民部市民生活課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	
78	美祢市市民福祉部生活環境課	○	○	○		○	○		○			○	○			○	○	
79	周南市環境生活部環境政策課	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
80	山陽小野田市市民部環境課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○		
81	周防大島町産業建設環境部生活衛生課	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○				○	
82	和木町住民サービス課	○		○		○	○				○	○	○					
83	上関町住民課	○		○			○				○	○	○				○	
84	田布施町町民福祉課	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○					
85	平生町環境政策室	○	○								○	○	○	○				
86	阿武町戸籍税務課	○		○			○				○	○	○				○	
87	山口県環境生活部環境政策課	○	○	○	○		○	○		○	○	○						
88	山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○					
89	山口県環境生活部自然保護課	○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	
90	山口県産業労働部産業政策課	○	○	○	○						○							
91	山口県観光スポーツ文化部交通政策課	○		○	○				○	○	○	○						
92	山口県農林水産部農林水産政策課	○	○	○	○													
93	山口県教育庁高校教育課	○		○			○		○		○					○		
	計	70	33	54	40	31	58	18	42	33	51	65	58	8	27	32	41	7

3　その他の取組事例等

	団体・法人名	概要等
4	山口県生活改善実行グループ連絡協議会	1．脱炭素社会の形成 ■植栽活動（各地域の花壇や遊休地で花を栽培） 3．自然との共生 ■植栽活動（各地域の花壇や遊休地で花を栽培）
5	山口県連合婦人会	4.その他 ■2月19日に理事研修を開催し、山口県地球温暖化防止活動推進センターより講師を招いて「温暖化の現状と対策」と題して、地球温暖化の仕組み、気候変動による影響等を講演頂き、最後にチェック方式で自分たちの今できる対策、今からできることを考え、共有した。
9	やまぐち自然共生ネットワーク	4.その他 ■令和７年９月：令和７年度リレーミーティングin柳井を実施 主催：やまぐち自然共生ネットワーク 共催：Ｓｅｅｄｓ（シーズ）、柳井にっぽん晴れ街道協議会 〇１日目・自然環境保全等の活動発表、活動拠点見学（お山の学校） 〇２日目・街道散策（柳井にっぽん晴れ街道協議会によるガイド） ※柳井市では初開催 【参考】別添チラシ
23	（一社）山口県周南清港会	3．自然との共生 ■漂流物、汚物等の流入投捨等の防止及び水面の汚濁防止に関する啓蒙宣伝
24	（一社）山口県産業廃棄物協会	2.循環型社会の形成 ■山口大学との合同研修会：「太陽光発電パネル」、「風力発電設備」、「電気自動車用リチウムイオンバッテリー」をテーマとし、現状認識、問題点の把握、問題解決に向けた対応策及び実現の可能性やビジネスモデルの創出について会員と学生が討論し、その成果を発表する研修会を実施した。併せて、産業廃棄物の処理に係る技術が社会実装されている企業の見学も実施した。（Ｒ８も実施予定：討論テーマは検討中） 3．自然との共生 ■協会８支部による不法投棄廃棄物回収ボランティア活動
26	長府扇町安全協議会	4.その他 ■別紙のとおり
29	東ソー（株）（やまぐちエコ市場）	4.その他 ■別紙のとおり

	団体・法人名	概要等
30	（株）トクヤマ（やまぐちエコ市場）	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■製造プロセス･事務所の省エネ、バイオマス燃料の活用、水素ワクワクみらい博へ参画(R3年度～) ■自家発電所の燃料転換検討･実施(8号ボイラでホワイトペレット燃焼開始:R7年10月～) ■社内啓発ビラ作成 ■カレット製造工程の燃料転換検討(C重油/灯油→LNG:R8年度末完成予定) ■GXリーグ参画(R5年度～) ■周南コンビナート脱炭素推進協議会等への参画 ■低炭素社会形成に寄与する研究/検討継続 ■本田技研工業･三菱商事と共同で副生水素･車両からリユース想定定置用燃料電池活用の実証(R7年8月～) ■ブラックペレット開発用パイロットプラント(R7年度～試運転調整中) ■水素化マグネシウム･水素化マグネシウム含有燃料添加剤「ECOMAX」の展示会/メディア等での紹介(R7年5月27日YABニュース,R7年7月 化学工業日報社「きみラボ」掲載,R7年10月23日KRYニュースなど) ■山口県「次世代環境リーダー育成プロジェクト」に気候変動に取組む企業として登壇(R7年7月27日) ２.循環型社会の形成 ■セメント製造において廃棄物･副産物を原燃料として活用 ■自家発電設備においてバイオマス燃料･リサイクル燃料を活用 ■事務所発生ごみの分別･再資源化 ■会社周辺のゴミ拾い(クリーンアップ活動) ■錦川一斉清掃への参加 ■「太陽光パネルリサイクル」の取組み(北海道が中心)の展示会/メディア等での紹介･各種表彰受賞 ３．自然との共生 ■サステナビリティ基本原則を制定し、地球温暖化防止･生物多様性に配慮することを明文化(R5年度～) ■生物多様性保全方針を制定し、経団連生物多様性宣言イニシアチブに賛同 ■森と水の交流会、竹林伐採ボランティア … 枝打ち　間伐　下草刈り、玉切りなど ■レノファ山口と連携した「竹クラーベ」に関わる取組み(各種イベント･環境関連講座など)⇒山口県「次世代環境リーダー育成プロジェクト」登壇、周南市「環境学習プログラム」への協力「第13回プラチナ大賞」で奨励賞受賞(使用後の竹クラーベをチップ化･発電燃料とするモデル:R7年11月) ■藻で産業を作るプロジェクト「MATSURIプロジェクト」に法人パートナーとして参画(R4年度～) ■自然関連財務情報開示タスクフォースに賛同(R6年6月)し、TNFDレポートを発行(R7年12月)
32	山口合同ガス（株）	４.その他 ■山口県森林Ｊ-クレジット購入、販売開始

	団体・法人名	概要等
33	（株）西京銀行	４.その他 ■昨年度の取組の実績については、別紙（P９、④）の通りです。
35	日本放送協会山口放送局	４.その他 ■報道機関として、環境保全の現状や様々な取り組みについて、ニュースや番組で情報発信している
39	（株）エフエム山口	４.その他 ■自然環境保護啓蒙のためのクリーン・キャンペーンイベントを３月に下関市あるかぽーと一帯でコスモ石油の協賛により開催いたしました。 （今年度の開催予定はございません。）
43	県立南陽工業高等学校（やまぐちエコリーダースクール）	４.その他 ■ペットボトルキャップを回収し、年度末に周南市に寄付。ワクチンとして有効利用する運動を開始しています。
45	山口市立白石小学校（やまぐちエコリーダースクール）	１．脱炭素社会の形成 ■服のチカラプロジェクト（衣類を開発途上国に送る活動）、つくし活動　（資源回収活動）など ２.循環型社会の形成 ■給食の残さいをなくそうキャンペーン、つくし活動（資源回収活動）など ４.その他 ■大手企業「ユニクロ」と連携して、服のチカラプロジェクトを実施。（全家庭や地域に呼び掛けて、不要になった衣類を回収し、開発途上国に送る運動。）小学校と、隣接する中学校とで一緒に行い、大変多くの衣類を集めることができた。
46	宇部市地球温暖化対策ネットワーク	１．脱炭素社会の形成 ■子どもから家庭の省エネを拡げるエコレンジャープロジェクト(夏季3か月配布されたエコチェックシートを参考にできる事から省エネ習慣を身に着けるプロジェクト)昨年に比べてどれだけ削減できたかを競う。

	団体・法人名	概要等
47	山口市地球温暖化対策地域協議会	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■イベントや環境学習講座（山口市内の学校や放課後児童クラブなどの団体を対象に講師を派遣する事業）を通して子どもたちが環境について学習する機会の提供 ■脱炭素まちづくりカレッジ講座の実施 ■竹炭を活用した4パーミルイニシアチブセミナー体験会の実施 ■再生可能エネルギーの普及・活用に関する講座の実施 ■山口市内の小学生を対象に、省エネ・節電に取り組むきっかけづくりを目的とした夏休みエコチェックシートの実施 ２.循環型社会の形成 ■Ⅰ．に記載したものに加えて、エシカル消費の普及啓発キャンペーンや、エコクッキング教室などの環境学習講座の実施 ３．自然との共生 ■山口市内の学校や放課後児童クラブなどの団体を対象にネイチャーゲーム体験などの環境学習講座を行い、子どもたちが環境について学習する機会を提供している ４.その他 ■令和７年度は、４パーミルイニシアチブセミナーを体験会というかたちで初めて実施した。（令和６年度はzoom） ■また、会員を対象に、山口市役所新庁舎見学会・脱炭素先行地域事業説明を実施した。 ■その他、山口市と連携し「デコ活」の普及啓発等を実施した。 ■令和８年度は、上映会「陽なたのファーマーズ フクシマと希望」を実施予定。
48	萩市快適環境づくり推進協議会	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■省エネ家電製品購入支援事業 ■住宅改修資金助成事業（既存住宅の改修補助　太陽光発電等） ３．自然との共生 ■親と子の水辺の教室
51	岩国市地球温暖化対策地域協議会	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■ストップ温暖化診断 ２.循環型社会の形成 ■エコツアーを開催し、環境問題に取り組む先進施設を視察することで、環境への理解を深め、環境意識を高めていく。
54	柳井市地球温暖化対策地域協議会	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■エネルギーの創蓄省に係る工作教室
56	周南市温暖化対策地域協議会	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■キッズ・エコチャレンジ大作戦 ■周南市エコすごろく ４.その他 【令和７年度の取組】 ■キッズ・エコチャレンジ大作戦参加賞「レノファ山口バックヤードツアー」

	団体・法人名	概要等
62	平生町快適環境づくり推進協議会	2.循環型社会の形成 ■町内イベントへ参加し、環境に関する周知・啓発等を検討中。
64	（公財）山口県ひとづくり財団県民学習部環境学習推進センター	4.その他 ■令和８年度の県民学習部の事業（チラシ添付）
66	山口県気候変動適応センター	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■ＨＰによる情報収集・情報発信 4.その他 ■山口県気候変動適応センターでは、県の気候変動影響と適応への関心と理解を深めていただくため、過去の気象情報と将来の予測結果を閲覧できるウェブアプリを公開いたしました。 やまぐち気候変動適応情報プラットフォームで掲載しています。 （https://yplat-ylccac.hub.arcgis.com/） ■また、「これって気候変動？みんなで調査！」では、気候変動の影響を調べるために、県民の皆様からの情報を募集しています。令和7年度から、「やまぐちの暑さ編」として、クーリングシェルターの位置情報や暑さ指数測定結果についても情報を収集しています。 （https://experience.arcgis.com/experience/172cb16a3ff64508b03c8ad4d18f6c9a/） ■山口県気候変動適応センターのＨＰでも情報発信しています。 （https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/246/122114.html）
70	山口市環境部環境政策課	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■国民運動「デコ活」普及啓発
71	萩市市民部環境政策課	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■省エネ家電製品購入支援事業 ■住宅改修資金助成事業（既存住宅の改修補助　太陽光発電等） ３．自然との共生 ■親と子の水辺の教室
74	岩国市環境部環境政策課	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■ノー残業デーの実施
75	光市環境市民部環境政策課	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■LED照明に交換する費用の補助金交付事業（R8）※一般家庭向け ■省エネ性能の高い家電等に買い替える費用の補助金交付事業（R8）※中小企業向け ■LED照明及び宅配ボックス導入補助金交付事業（R7）　※一般家庭向け

	団体・法人名	概要等
77	柳井市市民部市民生活課	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■ノー残業デーの実施 ■宅配ボックス設置促進補助金（R6～R8） ■柳井クールステーション（暑さをしのぐ一時的な休憩場所） ■エネルギーの創蓄省に係る工作教室 ２.循環型社会の形成 ■バイオマスプラスチックを配合した指定ごみ袋の導入 ■フードドライブの実施
79	周南市環境生活部環境政策課	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■周南市戸建住宅ＺＥＨ普及促進補助金 ■周南市ＥＶ・ＰＨＶ普及促進補助金 ４.その他 ■エコすごろくの貸出 ■地球温暖化防止に関する小冊子の配布
85	平生町環境政策室	２.循環型社会の形成 ■パソコン、小型家電等リサイクル ■食品トレイ、エコキャップ回収 ■ごみの捨て方に関する周知、啓発
86	阿武町戸籍税務課	Ⅰ．脱炭素社会の形成 ■ごみ処理施設内の照明のLFD化
87	山口県環境生活部環境政策課	Ⅰ．脱炭素社会の形成 【Ｒ８年度の取組予定】 ■脱炭素に触れる体験型謎解きイベントの実施（吉香公園（岩国市）、山口市中心商店街、萩・明倫学舎） ■小中学生を対象とした脱炭素社会の実現に向けたパブリック・ディベート大会の実施 ■高校生及び大学生等を対象とした未来環境アクションプロジェクトの実施

	団体・法人名	概要等
88	山口県環境生活部 廃棄物・リサイクル対策課	４.その他 【令和７年度の取組】 ■ ３Ｒ普及啓発 ぶちエコやまぐちアンバサダーの大和良子による食品ロス削減等の啓発メッセージの作成、放送ラジオCMによる食品ロス削減等の呼びかけ 県内小中学校等を対象として、出前形式によるサステナブルファッション等環境学習講座の実施 ■ ワンウェイプラスチック等削減推進事業 宿泊施設で提供される使い捨てプラスチックの削減に向け、関係団体と連携の元、使い捨てプラスチック削減に取り組むキャンペーンやイベントを開催 ■ プラスチック資源化促進事業 プラスチックごみの減量化と脱炭素化を図るため、ごみとして焼却されているプラスチック製漁網やカキ養殖用パイプを回収してペレットやベンチにリサイクルすることにより、地域での資源循環を促進 【令和８年度の取組予定】 ぶちエコやまぐち３R＋（ぷらす）推進事業 徹底的な資源循環に向け、従来の３Rの取組に加え、他の取組をプラスする ■ 3R＋普及啓発 「あなたの３R＋」コンテストを実施。コンテストで、3R＋の取組を募集し、応募資料を活用して啓発資材を作成・情報発信 ■ 3R＋環境学習 県内小中学校において、 3R＋に取り組む企業や大学と連携した実践活動を伴う環境学習を実施 ■ 3R＋促進事業 集客力のあるスポーツの試合会場等のフィールドを活用し、使い捨てカップ再資源化の社会実験等に取り組む ■ プラスチック資源化促進事業 県内大学や瀬戸内海プラごみ対策ネットワークと連携し、再生製品の価値創出のデザインや啓発手法を検討
93	山口県教育庁高校教育課	４.その他 ■ 「やまぐちエコリーダースクール」認証制度を実施（別添資料参照）

チラシ・パンフレット等

9　やまぐち自然共生ネットワーク

やまぐち自然派宣言

やまぐち自然共生ネットワーク
令和7年度リレーミーティング in 柳井
～次世代につなごう美しいやまぐちの自然～



柳井市都市農村交流施設　ふれあいどころ437

令和7年(2025年)
9月27日(土)～
28日(日)開催

＊参加定員 40名(先着順)

やまぐち自然共生ネットワークでは、山口県の豊かで美しい自然環境を将来の世代に継承していくため、毎年県下をリレーするミーティング（参加交流型研修会）を開催しています。
会員同士のネットワークを深め、情報交換、交流の輪をひろげましょう！

1日目

13：45　受付（柳井市都市農村交流施設 ふれあいどころ437）
14：00　開会式
14：30　講演（活動発表）
①「お山の学校と20年」
講師：Seeds（シーズ）宮本　剛氏
②「街道歩きを通じた地域づくり」
講師：柳井にっぽん晴れ街道協議会　岸田　稔明氏
16：15　活動拠点見学（「お山の学校」ほか）
18：30　交流会



見学予定箇所（お山の学校）

部分参加も可能です。
是非ご参加ください！



2日目

9：30　街道散策（ガイド有）
テーマ：「江戸期の街道を歩きながら、地域の自然と歴史を感じよう」
11：30　現地解散

【主　催】やまぐち自然共生ネットワーク　【共　催】山口県
【協　力】Seeds（シーズ）　・　柳井にっぽん晴れ街道協議会

参加申込書

申込方法　**9月19日(金)まで** に、必要事項を記入のうえ、下記へメール、郵送及びFAX等の方法によりご提出ください。

ふりがな	
お名前（団体名）	
ご住所	〒
連絡先	（電話番号）
	（メールアドレス）
生年月日	年　月　日

▼参加を希望される項目に○をご記入ください。

日程	参加項目	内容	参加費	集合場所
1日目		活動発表	無料	柳井市都市農村交流施設 ふれあいどころ４３７研修室 （柳井市日積４１５０－１）
		散策	無料	
		交流会	８，０００円	四季旬菜 蔵や （柳井市柳井津４３７）
	※①又は②を記入 （下記の留意事項をご確認ください。）	宿泊	５，０００円	①柳井ビジネスホテル （柳井市中央２丁目１５－２８） ②柳井ステーションホテル （柳井市南町１丁目５－１）
2日目		散策	無料	柳井市中央公民館ロビー （柳井市柳井３７１８）

留意事項

＊当日の天候等によりスケジュールを変更する場合がありますので、予めご了承ください。
＊会員以外の方もご参加いただけます。
＊宿泊を希望される方の取りまとめを行います。（シングルルームで、①は１０室、②は５室まで）
＊申込みの内容は、リレーミーティングの運営以外には一切使用しません。

問合せ先・申込先

令和７年度リレーミーティングin柳井 実行委員会（担当 石田）
所在地：〒753-8501 山口市滝町１番１号　山口県自然保護課内
ＴＥＬ：083-933-3060　　ＦＡＸ：083-933-3069
E-mail：a15600@pref.yamaguchi.lg.jp

2026年4月吉日

長府扇町安全協議会　会員各位

長府扇町安全協議会
クールファンプロジェクト

クールファンプロジェクト活動ご協力のお願い

拝啓、晩春の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、昨年に引き続き、今年度もクールファンプロジェクト活動を実施いたします。
つきましては、本活動の主旨にご理解、ご賛同を頂き会員の皆様のご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

敬具

記

◆◆「ぶちエコやまぐち」を宣言する事業所を募集しています！◆◆

山口県では、「ぶちエコやまぐち」を合言葉に、2050ゼロカーボン・チャレンジ～ぶちエコやまぐち県民運動～の実施を呼びかけており、「ぶちエコやまぐち」を宣言する事業所を募集しています。
現在、1,000を超える事業所が省エネ活動を宣言・実践しています。
募集対象・応募方法などの詳細は、山口県のHPよりご確認ください。

詳しくは⇒ https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/buchieco/20520.html

◆◆活動内容◆◆

①ライトダウンの呼びかけ・実施　（前期：6/21～7/7、後期：12/1～12/31）
事業所や家庭等において可能な範囲で照明を消灯し、CO2を削減

②エコスタイル・エコドライブの呼びかけ
クールビズの実施（5/1～10/31）、エコドライブの呼びかけ

③環境美化活動の推進（扇町団地内の美化活動）
毎月の環境デー・一斉清掃の継続と活性化



団地内一斉清掃の実施（2025年の様子）

以上

生物多様性保全

基本的な考え方

東ソーグループの化学製品は、製造過程で適切な管理をしなければ、生態系を含む自然環境に大きな影響を与える可能性があります。また、化学製品の製造では、エネルギーや鉱物、水などの資源を利用するため、サプライチェーン全体においても生態系に影響を与える可能性があります。

東ソーグループは持続可能な社会の実現に向け、事業活動と地域社会への貢献活動を通じて生物多様性の保全に積極的に取り組みます。

また、従業員への一層の啓発を図るため、2020年度から環境・安全・健康基本理念の行動指針に「生物多様性保全活動への取り組み」を盛り込み、社内教育などを通じて生物多様性を育む認識を深めています。

生物多様性保全に向けた取り組み

協議会などへの賛同・参画

東ソーグループは、環境・安全・健康基本理念の行動指針で生物多様性につながる地域に根付いた環境保全活動を推進しており、地域ごとに自主的な活動を行っています。海洋プラスチック問題に対する取り組みの一環として、日本プラスチック工業連盟の「プラスチック海洋ごみ問題の解決に向けた宣言書」に署名しています。この活動は、海洋プラスチック問題に対して、自主的に取り組みを推進し、社会にアピールしていくことを目的にしたものです。

また、2024年に「経団連生物多様性宣言イニシアチブ」に参画しました。2023年12月に改定された経団連生物多様性宣言・行動指針に賛同し、自然共生社会、サステナブルな経済社会の実現に取り組むとともに、GBF※1、SDGs、30by30※2といった世界目標や我が国の生物多様性国家戦略の達成に貢献していきます。

※1 Global Biodiversity Framework：2022年12月生物多様性条約の第15回締約国会議（COP15）において新たな目標を設定
※2 2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる自然再興（ネイチャーポジティブ）というゴールに向け、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標。南陽事業所の敷地の一部は、2023年に30by30保護地域（陸域）に指定され、さらなる生物多様性保全活動を推進

プラスチック問題への対応

東ソーは、廃プラスチックの削減において「マテリアル・ケミカルリサイクルの推進」を社会貢献と位置付け、循環経済の進展もふまえ、リサイクル技術の開発を進めています。リサイクル可能なプラスチックの開発をめざすと同時に、環境負荷を抑える取り組みを積極的に進めています。

事業活動との連携

南陽事業所では、周南市内から発生する街路樹などの剪定枝などを木質バイオマス燃料として有効利用するための協定を市と締結しています。これによって、限りある資源の有効利用と気候変動対策にも貢献しています。また、事業所内で発生した剪定枝葉や落ち葉などを堆肥化し、樹木の育成および緑地管理に活用しています。

さらに、2021年より周南市と近隣の会社の共同で、木質バイオマス材利活用および森林整備などに関する連携を推進しています。

地域社会への貢献活動

東ソーグループは自然との共生社会の実現に向け、地域と連携した環境保全活動を推進しています。

里山保全活動

南陽および四日市事業所では、地域の里山保全活動に積極的に取り組んでいます。毎年、南陽事業所では山口県主催の「まちと森と水の交流会」に参加し、四日市事業所では四日市自然保護推進委員会主催の里山保全活動を実施しています。引き続き、里山の保全活動を推進し、生態系の維持に努めていきます。


里山保全活動（南陽地区）


里山保全活動（四日市地区）

地域清掃ボランティア

東ソーでは、事業所近隣の市街清掃および海岸や河川周辺の清掃を行っています。

南陽事業所では、クリーンアップ・マイ・NANYOや近隣の構外清掃および長田海岸清掃などの地域貢献活動を通じて、周辺地域の美化に努めています。

四日市事業所では、31の企業・団体による霞ケ浦地区環境行動推進協議会に参画し、環境ボランティア活動を継続しています。活動の一つとして、三重県主催の「伊勢湾　森・川・海のクリーンアップ大作戦」に賛同し、近隣海岸の清掃やコンビナートと埠頭側の統合清掃などを行っています。東京研究センターにおいても「河川をきれいにする会」に参加し、河川のパトロールなどを行っています。


長田海岸清掃（南陽地区）


高松海岸清掃（四日市地区）


河川パトロール（東京研究センター）

東ソー苗木基金による森林資源循環の促進

2024年4月10日、山口県内の森林で伐採された林地残材の有効活用と、伐採後の森林における再造林を促進するため、山口県、山口県森林組合連合会の三者による「東ソー苗木基金の創設に関する協定書」を締結しました。

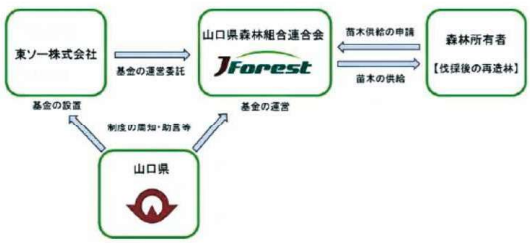
東ソーは、林地残材から生産された燃料用チップを受け入れ、南陽事業所の自家発電燃料として有効活用するとともに、燃料用チップの受け入れ量に応じた基金を拠出します。

東ソー苗木基金は、森林所有者に造林費用を提供することで伐採後の再造林を促進し、森林がもつ多様な機能の維持と森林資源の循環を通じた林業振興を図ります。



協定調印式

基金スキーム



SDGs推進に向けた取り組み②

③人権：ダイバーシティ

- 企業文化の多様化促進や、多様な働き方の理解を深めるとともに、社会的責任を果たす取り組みとして、引き続き人財一人ひとりが能力を発揮し活躍のできる職場環境の整備を進めている。
- 外国人留学生や障がい者の採用を積極的に進め、多様性を尊重した持続可能な組織基盤の確立を目指している。障がい者採用については、目標に対して1名の未達となったものの、山口県内の総合支援学校等と連携した新卒採用に取り組んでおり、職場体験の機会等を通じて、本人の適性や希望を踏まえた雇用機会の創出を推進している。

項目	目標	2025年度実績
外国人留学生採用	2名以上	3名
障がい者採用	3名以上	2名

④環境：業務を通じた環境保全

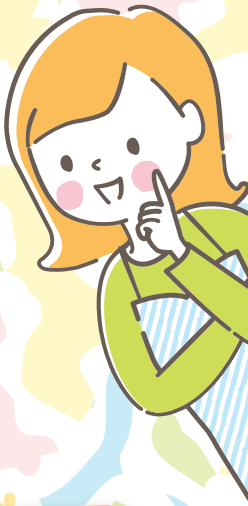
- 気候変動対応関連投融資やSDGs私募債の活用を通じ、地元事業者の脱炭素・環境対応に貢献。
- 店舗のLED化、電子契約サービス導入等のペーパーレス化を進め、環境負荷低減を推進。

項目	目標	2025年度実績
気候変動対応関連投融資の推進	10件以上	10件
「SDGs宣言」策定サポート	30件以上	31件
SDGs私募債の活用	10件以上	10件
西京銀行グループの温室効果ガス排出量削減(2013年度比)	▲46%	▲64%

令和８年度

公益財団法人
山口県ひとづくり財団
県民学習部事業案内







やまぐちキッズスクール



やまぐちしあわせ会議



ワークショップコレクション
inやまぐち2026



環境学習講座



やまぐち若者
MY PROJECT



ひとづくり・地域づくり
フォーラムin山口

Instagram開設のお知らせ

山口県ひとづくり財団県民学習部の公式Instagram（インスタグラム）を開設いたしました。
県民学習部が行う「生涯学習」「環境学習」に関する様々な取り組みを発信しています。
みなさまの「フォロー」や「いいね！」をお待ちしています。

HITODUKURIKENGAKU

アカウント名：hitodukurikengaku
URL：https://www.instagram.com/hitodukurikengaku/

やまぐちWell Being ホームページのお知らせ

やまぐち Well Being

山口県のウェルビーイングに関する情報を発信しています。
URL：https://hito21.jp/well-being/

県民学習部 事業一覧 公開講座

セミナーパークの施設目的である県民の「学習活動の促進」と「交流の促進」を図るために、『生涯学習推進センター』及び『環境学習推進センター』からなる県民学習部を設置しています。

学習活動については、「若者の育成」、「地域リーダーの育成」、「新たな学びの提供」の3つの視点から、交流については、「セミナーパークの活用」、「全県的なネットワーク構築」、「自然ふれあいゾーンの活用」の3つの視点から、「山口県の未来を拓く人づくり」を進めるための各種事業を実施しています。

❶全ての講座等は原則、参加費無料です。
❷各種講座等の詳細は、その都度、市町役場や公民館などにチラシを配置するとともに、ホームページ等でお知らせします。
❸参加を希望される方は、チラシやホームページをご覧いただき、各種事業等の申込方法に沿って申し込んでください。

山口県ひとづくり財団
ホームページはこちらから▶
URL https://hito21.jp/

1. 県民の学習活動の促進

●若者の育成

新たな時代を担いリードする若者の育成事業を実施します

講座名	講師・内容 等	対象者	開催日
やまぐち未来アカデミア事業			
やまぐちキッズスクール	全3回、多彩な体験活動プログラムを実施します。 子どもの好奇心や創造力を高めるきっかけにするとともに、感じたことや考えの表現・共有を通して、他者について理解し、互いを尊重し合う気持ちを育みます。	4才～小学3年生及びその保護者20組	全3回 第1回　5月16日(土) 第2回　7月4日(土) 第3回　9月5日(土)
やまぐちキッズスクールミニ!	家族で野菜の収穫などを体験する、農園教室を実施します。	幼児～小学生及びその家族25組	10月下旬(予定)
NEW やまぐち「志」セミナー	仲間との活動・交流や体験プログラムを通じて、自己肯定感を高め、豊かな人間関係づくりを進めるとともに、志と主体性の基盤となるチャレンジ精神やコミュニケーション能力、課題解決力の育成をめざします。 前期　人間関係づくり、講義・演習、先人学習、プラネタリウム体験　他 講師　AFPYアドバイザー　平井　一 氏　他 特別プログラム　森のチャレンジコースに挑戦 講師　森のチャレンジコース指導者　他 後期　ニュース番組づくりに挑戦 講師　山口ケーブルビジョンまちかどNEWS　佐藤　忠典 氏　他	小学4年生～中学2年生30名程度	前期：8月10日(月)～11日(火祝)　1泊2日 ・会場：YMfg維新セミナーパーク 特別プログラム：10月31日(土) ・会場：山口県十種ヶ峰青少年自然の家 後期：12月6日(日) ・会場：YMfg維新セミナーパーク
やまぐち若者MY PROJECT	・探究活動をサポートする通年プログラムです。社会人・学生メンターの伴走を受けながら、身近な課題の解決に向けたプロセスを描く力や失敗を恐れずに挑戦し続ける力、立場や意見の違いを超えて互いにより良い解決策を求めて話し合うコミュニケーション能力の育成をめざします。 ・「全国高校生MY PROJECT AWARD2026」全国Summitへの出場チームを決定します。	高校生及びそれに準ずる年齢の方	8月～令和9年2月で複数回
ワークショップコレクションinやまぐち2026	クラフト工作や実験、プログラミングなど様々なワークショップ体験を通して、創造力、表現力を育みます。	幼児～小学生及びその保護者	11月中旬(予定)
やまぐち維新アカデミー	県内の専門的分野で活躍している大人との対話やワークショップを通じて、ふるさと山口への誇りと愛着を高めるとともに、子どもたちのめざす目標に向けて志を高め、自らのキャリアを構築する力を育成します。	小学3年生～中学3年生	第1回　6月28日(日) 第2回　8月23日(日) 第3回　10月18日(日)
NEW ハテナ・クエスト	身近な遊びやクイズを通じて、自分自身の「問い」に気付き、「探究活動のスタート」となるきっかけづくりを行うとともに、今後の探究活動につながる機会を創出します。	中学生	7月11日(土)
遊びで培う創造力育成事業	自然や公園設備等の地域資源を活用した新たな遊びを考えるプログラムを通じて、子どもたちの自由な発想や好奇心を高め、新たな価値を創造する力を育成します。		
やまぐちっ子「環境レポート」	子どもたちが家族や学校、地域の方たちとともに環境やSDGsについて考え、調べ、行動した内容を絵日記や新聞形式にまとめた作品を募集します。 ◇応募対象　山口県内の小学生　◇応募締切　9月25日(金) ◇賞・選 考　絵日記の部、レポート(新聞形式)の部に分けて選考　(入賞作品には賞状と副賞として図書カード。応募者全員に参加賞あり) ◇応募方法　(1) 学校又は団体での応募　別紙「応募用紙」に必要事項を記入し、作品と一緒に、山口県ひとづくり財団県民学習部に送付 (2) 個人での応募　チラシ裏面の「応募票」に必要事項を記入し、作品と一緒に、山口県ひとづくり財団県民学習部に送付		

●地域リーダーの育成

ひとづくり・地域づくりフォーラムや各種リーダー養成セミナーを開設し、地域活動の活性化等につながる事業を実施します

講座名	講師・内容 等	対象者	開催日
NEW ひとづくり・地域づくり実践力養成セミナー	第1回　対話のスキルを身につける 講師　NPO法人市民プロデュース　理事長　平田　隆之 氏 NPO法人おむすび　理事長　大畑　伸幸 氏 第2回　企画・立案力を学ぶ 講師　地域おこし協力隊ネットワーク　代表　吉田　知弘 氏　他 第3回　実践者からノウハウを学ぶ 講師　宇部フロンティア大学短期大学部　教授　伊藤　一統 氏　他	地域づくりや地域課題に取り組みたい人、各種コーディネーター(防災・環境・福祉・学校等)、公民館・交流センター主事・CSアドバイザー 等 各回30人程度	第1回　6月27日(土) 第2回　8月29日(土) 第3回　9月26日(土)
第21回ひとづくり・地域づくりフォーラムin山口	「出会い・交流・学びから広がるひとづくり・地域づくり」をテーマに地域課題の解決を担う人材の育成と地域での実践活動につながるフォーラムを開催します。 実践事例発表・講義演習・講演など		令和9年2月13日(土)

講座名	講師・内容　等	対象者	開催日
環境学習指導者養成セミナー	第1回　環境学習用マイクロプラスチック調査指導者養成講座 講師　山口県環境保健センター　環境科学部　担当職員 第2回　水生生物による水質判定講座 講師　人間環境大学総合環境学部　フィールド自然学科講師　後藤　益滋 氏	県内の教員、環境活動団体員、環境学習指導者、市町・県職員 環境活動や環境学習に興味があり知識を得たい方 等 各回20人程度	第1回　5月19日(火) 第2回　5月26日(火)
希少野生動植物種保護対策推進事業			
希少野生動植物種保護支援員研修会	希少野生動植物に関する基礎知識と実践的な活動方法の習得により、希少野生動植物種保護支援員の資質向上を図ることを目的に実施します。	山口県に登録している希少野生動植物種保護支援員	未定
情報誌「支援員だより」の発行	希少野生動植物種の保護と生物多様性の普及啓発を進め、生物の多様性が確保された良好な自然環境を保全するための専門的な情報を、希少野生動植物種保護支援員の皆様に提供します。		
教育コア・プロジェクト事業	複雑化・多様化する教育課題に学校、家庭、地域が連携・協働して対応するため、教育活動の推進に向けて中核となる人材を育成することで、山口県教育の一層のレベルアップを図ることを目的に、やまぐち総合教育支援センターの研修講座等の一部を、開放講義として教員、保護者、県民が共に学びます。 ◇詳しくは、やまぐち総合教育支援センターウェブサイトの「申込関係」にある「開放講義」のページをご覧ください。 https://www.center.g.ysn21.jp/		

●新たな学びの提供

幅広い県民ニーズを踏まえ、新たな学びや実践につながる事業を実施します

講座名	講師・内容　等	対象者	開催日
夢トークinやまぐち講演会	講演会(3回程度) ◇講師・内容　未定	一般県民 各回300人程度	6月～11月に3回程度開催
山口ひとものがたりセミナー	第1回　Mine秋吉台ジオパークの何が世界に認められた? ー「白」の石灰岩と「黒」の石炭、それぞれの科学的な価値と利用の歴史ー 講師　Mine秋吉台ジオパーク推進協議会事務局　専門員　小原　北土 氏 第2回　Mine秋吉台ジオパークから紐解く「赤」のひみつ 講師　美祢市教育委員会文化財保護課　長登銅山文化交流館館長　椿　徹 氏 第3回　豊臣兄弟の天下統一と毛利輝元 講師　公益財団法人毛利報公会　毛利博物館館長　柴原　直樹 氏	一般県民 各回90人程度	第1回　6月20日(土) 第2回　7月18日(土) 第3回　10月3日(土)
環境学習講座	全3回、気候変動や自然保護などの講座を実施します。 第1回　気候変動の影響による天然水産資源の変化や海水温上昇に起因するトラフグの雑種の増加等について学びます。 講師　水産大学校 生物生産学科　教授　髙橋　洋 氏 山口県気候変動適応センター　職員 第2回　夏休みの自由研究にぴったり!洞窟探検や秋吉台の地上・地下ジオラマづくりを通して、Mine秋吉台ジオパークをまるごと体験します。 講師　Mine秋吉台ジオパーク推進協議会事務局　専門員　小原　北土 氏 美祢市立秋吉台科学博物館　学芸員　石田　麻里 氏 Mine秋吉台ジオパーク　認定ジオガイド　谷岡　奈美子 氏 ※第3回は調整中	一般県民 各回20～30人程度 ※第2回は小学4年生～中学3年生対象(小学生は保護者同伴)	第1回　7月25日(土) 第2回　8月1日(土) 第3回　調整中
NEW やまぐちしあわせ会議	ウェルビーイングの考え方を学び、参加者同士の「対話」を通じて、自身のウェルビーイングを向上させ、やまぐちへの愛着心を育みます。 講師　武蔵野大学ウェルビーイング学部　准教授　中村　一浩 氏	大学生・社会人	11月下旬(予定)
環境学習指導者バンク登録・派遣事業	学校や各種団体等が開催する環境学習の講演会・研修会や体験学習会などに、「山口県環境学習指導者バンク」に登録した講師・指導者を派遣します。 (講師・指導者の謝金、旅費は財団が負担します。)		通年
新たな時代の人づくり ウェルビーイング向上事業	ウェルビーイングの観点に着目した「人づくり」を様々な学びの現場に広げることのできる人材を育成するためのファシリテーターワークショップを開催します。 ◇詳しくは、やまぐちウェルビーイングサイトの「お知らせ・イベント」のページをご覧ください。　https://hito21.jp/well-being/		

2. 県民の交流の促進

●セミナーパークの活用

施設の特色を活かした事業を実施します

講座名	講師・内容　等	開催日
スポーツクライミング 体験教室	講師　山口県山岳・スポーツクライミング連盟 登山とボルダリングの体験教室 ◇対　象　小学生～中学生及びその保護者15組 ボルダリングの部、トップロープクライミングの部それぞれのウォールでのスポーツクライミング体験教室 ◇対　象　小学生～中学生20人(各回・各部) ※問合せ・申込は、山口県山岳・スポーツクライミング連盟にお願いします。 山口県山岳・スポーツクライミング連盟ホームページ　URL https://yamaguchi-gakuren.jp	登山とボルダリングの部 5月31日(日) ボルダリングの部・トップロープクライミングの部 7月25日(土)・8月2日(日) 8月23日(日)
セミナーパーク 体験学習事業	セミナーパークの施設や人材を活用し、学校における教育活動を支援する体験学習です。 ◇対　象　県内の小学校及び特別支援学校<小学部>　(但し、離島や中山間地域校の申込みを優先して採択することとします。) ◇参加人数　学校又は学級単位での申込とし、10～40人程度 ◇活用できる施設や学習内容等は、(公財)山口県ひとづくり財団ホームページをご覧ください。	

●全県的なネットワークの構築

講座の情報や事業報告を発信するとともに、共催事業の実施や交流会・推進協議会の開催等により、関係団体間の交流を進めます

講座名	内　容	
環境活動団体等交流会	環境活動団体等との交流を通じて、活動状況等の情報を共有し、環境学習機会の提供や体験できる場の充実・拡大等を促進します。 ◇対　象　　環境活動団体、環境学習指導者、環境学習関連施設、行政機関（県・市町）　等	令和9年1月
環境学習全県ネットワーク構築	様々な環境活動情報の発信や環境学習教材の貸出などを通じて、全県的な環境学習を推進するとともに、活動主体同士のネットワークづくりを促進します。 ◇内　容　　情報誌「ecoサポート」の発行（年2回）、WEBページ「環境学習のひろば」の運用、環境学習教材の整備　等	通年

●自然ふれあいゾーンの活用

自然ふれあいゾーンの施設や環境を活かした事業を実施します

講座名	講師・内容　等	対象者	開催日
NEW 親と子の自然体験教室 （こども樹木博士）	自然ふれあいゾーン内のさまざまな樹木について、樹木医の案内のもと、その特徴や樹種を学びながら散策することで、森林に親しんでいただくプログラムを展開します。 講師　樹木医（山口県樹木医会）	小学3年生～6年生 （親子での参加）	9月下旬（予定）

「山口県の先人学習コーナー」のご案内

パネル、映像等による山口県の歴史や先人の紹介と図書・資料の展示を行い、来館される皆様が学習を深めることができるスペースを整備しています。どうぞ、お気軽にご利用ください。

＜場所＞
セミナーパーク管理棟２階
＜利用時間＞
月曜日から金曜日の９時から１７時まで
（祝日及び12/29～1/3をのぞく）

Webページ
「山口県の先人たち」は
こちらから▶



好評販売中

夢チャレンジ きらり★山口人物伝 第1～10巻

この本は、郷土山口にゆかりのある方々のチャレンジ精神あふれる足跡を、県内の小学生や中学生の皆さんが調べ、その生き方に触れ、感じたことをもとにまとめたものです。



県民学習部までお問合せください！



アクセス



公益財団法人 山口県ひとづくり財団

〒754-0893 山口市秋穂二島1062 YMfg維新セミナーパーク内

県民学習部

TEL 083-987-1710　FAX 083-987-1760
e-mail yh-kengaku@hito21.jp

山口県ひとづくり財団
ホームページ
URL https://hito21.jp/ ▶

みなさまのフォローをお待ちしています！ いいね！
県民学習部
Facebook　Instagram
HITODUKURIKENGAKU

生涯学習推進センター

TEL 083-987-1730　FAX 083-987-1760
e-mail center@yamaguchi.kagayakinet.jp

「かがやきネットやまぐち」
URL https://www.kagayaki.pref.yamaguchi.lg.jp/ ▶

メールマガジン登録
県内の講演・講座等のお知らせをします！

環境学習推進センター

TEL 083-987-1110　FAX 083-987-1720
e-mail kangaku@hito21.jp

「環境学習のひろば」
URL https://yamaguchi-learning.com ▶▶▶▶

別添資料

やまぐちエコリーダースクールについて

【やまぐちエコリーダースクールとは】

環境教育に関する活動に**環境マネジメントシステム（ＰＤＣＡサイクル）の手法**を取り入れた取組を行い、県教委が「やまぐちエコリーダースクール」と認証した学校です。

環境マネジメントシステムとは

組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する**方針や目標を自ら設定**し、これらの**達成に向けて取り組んでいく**ことを「環境管理」又は「環境マネジメント」といい、**このための工場や事業所内の体制・手続き等の仕組み**を「環境マネジメントシステム」（ＥＭＳ - Environmental Management System）といいます。

学校における活動の方針や目標を宣言し、その達成に向けて取り組み、活動による成果と課題を明らかにしながら、児童生徒が主体的に環境保全に取り組む「やまぐちエコリーダースクール」は、まさしく環境マネジメントシステムを取り入れた取組といえます。

【やまぐちエコリーダースクールに認証されるためには…】

1　学校での活動方針を「行動宣言」として内外に示します。
（校内には全校集会等で、校外には学校だよりや学校 web ページ等を通じて行う。）

2　この宣言と取組状況を記載した提出書類等を基に県教育委員会が実施校を指定し、その後の活動成果を評価した上で、年度末にエコリーダースクールとして認証します。

［行動宣言の例］

行動宣言
〇〇小学校
◎　空き缶・空き瓶等をリサイクルします。
◎　給食の食べ残しをしないようにします。

行動宣言
〇△小学校
◎　空き教室の照明のスイッチをこまめに切ります。
◎　手洗い・歯磨きの水を節約します。

行動宣言
□□中学校
◎　校舎・校庭の美化作業に努めます。
◎　環境保全に関する地域の催しや活動に、積極的に参加します。

行動宣言
〇□中学校
◎　地域の方々と協力して〇〇川の清掃活動に取り組み、水質保全に努め、ホタルがすめる川にします。

行動宣言
◇△高等学校
◎　近隣の小学校を訪問し、木炭を使った水質浄化の取組について紹介し、普及に努めます。

行動宣言
□△高等学校
◎　地球温暖化防止対策として〇〇〇〇〇〇の効果について研究を進め、実証展示を行います。

《行動宣言を決めるに当たっての留意事項》

ア　上記の例の他、学校独自の取組を宣言にしてもよいこと
イ　児童生徒が主体的に取り組む活動を中心とした宣言とすること
ウ　ＰＤＣＡサイクルに基づいて取組の内容と成果をチェックし、年度ごとに宣言の内容も改善を図ること
エ　学校での環境教育に関する年間計画に基づいたものとすること
オ　単年度の取組にとどまらず、次年度以降の発展・継続性を考慮すること
カ　地域・家庭への活動の普及が図れるものが望ましいこと

【実施方法】

①　県教育委員会は、実施要項に基づき、実施希望校（以下「実施校」とする）を募集する。
②　実施校は、「行動宣言」を行い、参加申請書（別紙様式１）及び環境教育に係る年間計画（様式は問わない）を提出する。
③　県教育委員会は、提出書類をもとに実施校を指定する。
④　実施校は、年度末に報告書（別紙様式２）を提出し、県教育委員会が認証する。
⑤　県教育委員会は、認証校の中から特に顕著な取組を表彰する。

《認証のポイント》
ア 児童生徒が主体的な活動を行っていること
イ 計画(Plan)－実行(Do)－評価(Check)－改善(Action)サイクルが構築されていること
ウ 環境教育に関する年間の計画に基づいた活動であること
エ 次年度以降の発展・継続性がある取組となっていること

【期待される成果】

○　やまぐちエコリーダースクールでは、学校全体で行う活動と教科等での学習活動とが相乗効果をもたらし、児童生徒の環境保全に関する自発性が喚起されるとともに、次世代を担う国民としての資質の向上を図ることができます。
○　児童生徒による「行動宣言」に基づいて主体的な取組を行うことで、児童生徒に達成感を与え、自ら考えて行動する力の育成することができます。
○　実施校での取組の様子をＷｅｂページ等で積極的に情報発信することにより、認証校内だけの取組に留まることなく、成果を他校にも普及するとともに、さらには、児童生徒の意欲が家庭・地域にも波及効果をもたらすことができます。

児童生徒、教職員、保護者、地域住民等の
環境保全に対する意識高揚・実践力向上（地域環境力の向上）

【参考資料】　児童生徒による主体的な環境学習を進めるために

児童生徒による主体的な環境学習を進める上で大切なのは、「何を」「何のために」「どのようにして」「どのようにしていきたい」という具体的なイメージを児童生徒がもつということです。環境学習に取り組む視点を明確にし、児童生徒が具体的な活動のイメージを共有することで、より協働的で主体的な取組へとつなげていくことができます。

児童生徒による主体的な環境学習を進める上で参考になる資料を以下に紹介します。

「環境教育指導資料［幼稚園・小学校編］」(平成 26 年)及び**「環境教育指導資料［中学校編］」**（平成 28 年）では、「環境を捉える視点」について次のように説明されています。

［幼稚園・小学校編］



平成 26 年 10 月
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

［中学校編］



平成 28 年 12 月
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

環境教育指導資料［幼稚園・小学校編］

4　環境を捉える視点

持続可能な社会の構築を目指す環境教育を考えるためには、自然や生命、エネルギー、資源などの要素を個別に理解するのではなく、それらを関連付けて一つの環境を捉える視点として位置付けることが大切である。環境を捉える視点として、例えば次のようなものが考えられる。

- **資源の循環**
- **自然や生命の尊重**
- **生態系の保全**
- **異文化の理解**
- **共生社会の実現**
- **資源の有限性**
- **エネルギーの利用**
- **生活様式の見直し**

（第３章　小学校における環境教育　第１節より）

※中学校編の視点の例も同様

参考 URL

環境教育指導資料［幼稚園・小学校編］
https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/kankyo_k_n_e.pdf
環境教育指導資料［中学校編］
https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/20161214.pdf

山口県においては**「環境教育推進計画」**（山口県教育委員会,令和２年）の中で、これからの環境教育の方向性について下記のように示されています。



令和２年３月（改訂）
山口県教育委員会

環境教育推進計画

我が国においても、中央環境審議会からの答申「これからの環境教育・環境学習－持続可能な社会をめざして－」（1999年）で、環境教育をいわゆる「環境のための教育」という枠から、「持続可能な社会の実現のための教育」にまで範囲を広げることを求めています。そこで、**循環・共生型**の持続可能な社会の構築に向けて、様々な問題を解決していこうという思考・行動自体を環境教育と捉えることが必要です。つまり、**ＥＳＤの視点に立った環境教育**では、単に環境だけではなく、社会、経済などをはじめとする極めて広範囲の内容を取り扱うことが重要となります。

※ESD･･･持続可能な開発のための教育
（Education for Sustainable Development）

（第１章　２持続可能な発展のための教育(ESD)の視点に立った環境教育より）

参考 URL

環境教育推進計画（山口県）
https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50300/kankyo/keikaku.html

持続可能な開発のための教育（ESD）について



持続可能な開発のための教育（ESD）とは、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であり、その中には、国際理解、環境、多文化共生、人権、平和、開発、防災などのテーマ・内容が含まれます。したがって、ESD で取り上げるテーマ・内容は必ずしも新しいものではありません。むしろ、それらを ESD という新しい視点から捉え直すことにより、個別分野の取組に、持続可能な社会の構築という共通の目的を与え、具体的な活動の展開に明確な方向付けをするものです。また、それぞれの取組をお互いに結び付けることにより、既存の取組の一層の充実発展を図ることを可能にします。

ESD の実施においては、**「人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと」**や、**「他人、社会、自然環境との関係性を認識し、関わり、つながりを尊重できる個人を育むこと」**の観点が必要です。

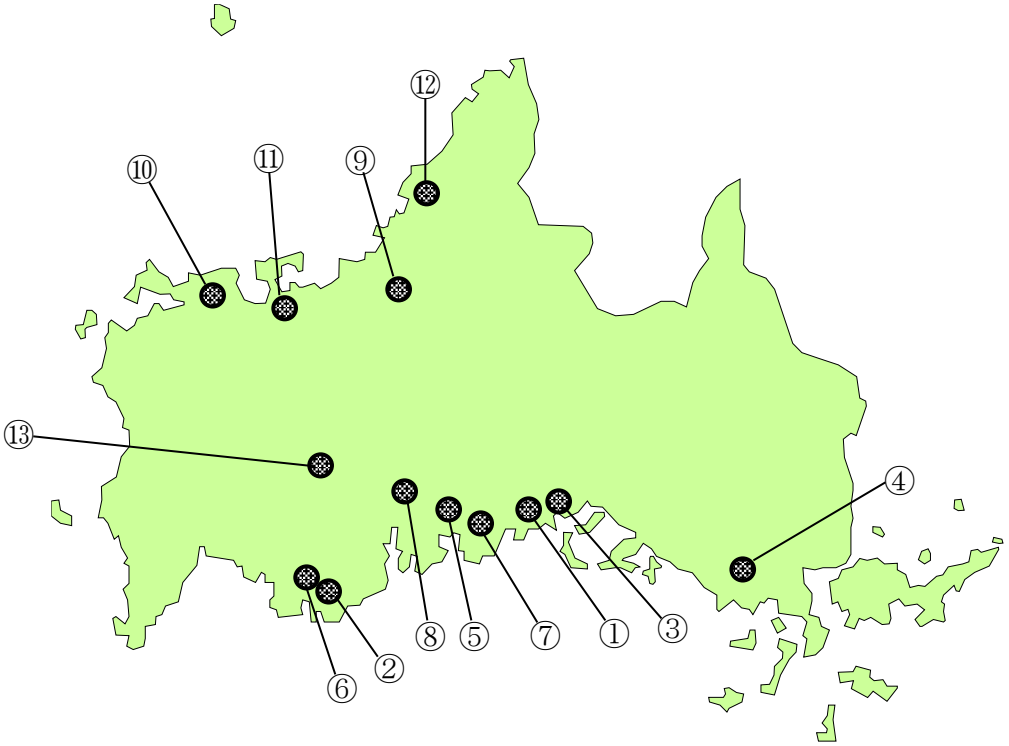
（文部科学省ホームページより引用　https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339991.htm）

そのほかの参考資料

環境教育に活用できる学校づくり実践事例集
https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/ecoschool/detail/1311403.htm

令和７年度　やまぐちエコリーダースクール認証校

高等学校（１３校）



【令和７年度認証校】　★は平成２２年度太陽光パネル設置校

①	★南陽工業高校・・・・・・・・・・・・21年目		
②	★宇部工業高校・・・・・・・・・・・・20年目		
③	新南陽高校・・・・・・・・・・・・19年目		
④	★田布施農工高校・・・・・・・・・・18年目	田布施農業高校から継続	
⑤	防府西高校・・・・・・・・・・・・17年目		
⑥	宇部西高校・・・・・・・・・・・・17年目		
⑦	★防府商工高校・・・・・・・・・・・16年目	防府商業高校から継続	
⑧	★山口農業高校・・・・・・・・・・・16年目		
⑨	★萩商工高校・・・・・・・・・・・・16年目		
⑩	★大津緑洋高校（日置校舎）・・・・・16年目	日置農業高校から継続	
⑪	★大津緑洋高校（水産校舎）・・・・・15年目	水産高校から継続	
⑫	萩高校奈古分校・・・・・・・・・・15年目		
⑬	美祢青嶺高校・・・・・・・・・・・13年目		

※認証校数の推移

認証年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
校　数	１	２	３	６	１０	１８	１８	１８	２０	１８	１８

認証年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
校　数	２１	２０	１９	１７	１６	１６	１６	１５	１４	１３